

一種耐熱端子台について(TBPシリーズ)

消防法基準により、非常電源専用受電設備の分電盤に使用される端子台は、JIS A1304「建築構造部分の耐火試験方法」に定められた火災温度曲線(図1のとおり)に示す温度を対象とした耐火・耐熱性能を有し、火災時の異常高温に対しても非常電源の確保が義務付けられています。

一種耐熱端子台とは、1/3 火災温度曲線により30分加熱したとき、支障なく耐熱定格電流を通電および開閉することができ、一般社団法人 日本配電制御システム工業会 非常用配電盤等機器認定委員会発行「耐熱形配電盤等機器 型式認定の手引」に定める基準に適合し、一種耐熱端子台として登録された端子台です。

●使用条件

1/3 火災温度曲線により30分加熱したとき、支障なく耐熱定格電流を通電および開閉することができます。

なお、耐熱端子台として使用される場合は、カバー・記名板を外してご使用ください。(TBPシリーズ)

ご注意 一種耐熱端子台は、1/3火災温度曲線により30分間加熱したとき、支障なく耐熱定格電流を通電および開閉することができる端子台であり、常時高温では使用できません。

●耐熱定格使用電流

耐熱端子台として使用される場合の電流値は、基準周囲温度(40℃)で規定された定格通電電流の70%以内を目安とし、下表を参考にご使用ください。

電線mm ²	2	5.5	8	22	38	60	100	150	200	325
耐熱定格使用電流 A	10	20	30	60	75	125	150	200	300	400

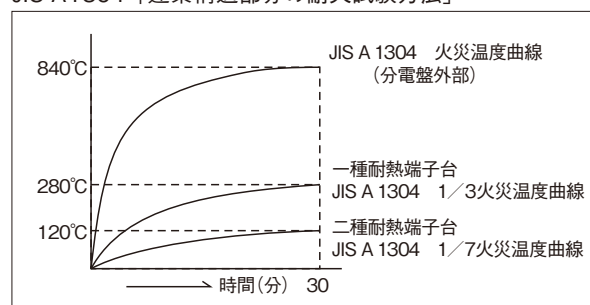
●電線について

一種耐熱端子台として使用する時は耐火電線をお使いください。

また二種耐熱端子台として使用する時は耐熱電線をお使いください。

図1 火災温度曲線

JIS A1304「建築構造部分の耐火試験方法」



防爆用端子台について

防爆用端子台は、防爆構造の容器の中に収めて使用する端子台です。

防爆機器は、電気火花や高温を生じないことが要求され、機器の構造および材質・温度上昇・絶縁距離について、それぞれ規格により定められています。

日東工業端子台TBPシリーズは、独立行政法人労働安全衛生総合研究所「工場電気設備防爆指針」およびJIS C 60079-7「爆発性雰囲気中使用する電気機械器具第7部:安全増防爆構造“e”」に定められた基準を満たしていますので、安全増防爆構造の機器に使用できます。

開閉器
端子台

ブレーキ
ブレーキ

ブレーキ
ブレーキ

ブレーキ
ブレーキ

ブレーキ
ブレーキ

ブレーキ
ブレーキ

ブレーキ
ブレーキ

開閉器

オートリセット
ブレーキ

ブレーキ
ブレーキ

ブレーキ
ブレーキ

端子台

電力計測
ユニット

放電検出
ユニット